

「千羽トキ」
(2年)は有志の協力に感謝し「トキを大切に思う気持ち」が中国に届くとうれしく話した。

朱鷺国際フォーラムは22日、24日に開かれ、サポート隊を担当する松井元雄教諭が参加する。千羽トキは会場で披露後、洋県朱鷺生態園の「宣教館」に展示される。

隊員の生徒11人が津幡高で初めて「トキ折り方教室」を開いた。隊の活動を本紙報道で知った住民有志と保護者有志に千羽トキの完成を報告する隊員 津幡高

市場探検や調理
近江町で親子体験
食育プログラム
金沢市の近江町市場の食育プログラム「親子おみちよ体験」は12日、同市場で



全職員 野菜作り体験 J A金沢中央

J A金沢中央の職員約70人は12日、金沢市袋島町のビニールハウスで、ナスやピーマン、金時草、加賀太きゅうり、トマトなど多様な野菜の苗を植え、収穫を心待ちにした。栽培技術の習得と収穫の喜びを知るため、全職員約140人が水管理や除草などを行い、野菜作りを経験する。

職員による野菜栽培は昨年到现在2年目となる。昨年は野菜作りの経験がない職員が約8割で、来店客や農家から栽培法について聞かれることもあり、実際に育てることになった。

職員は約150平方メートルのビニールハウス内を9区画に分け、支店や部署ごとに畝を作り、苗を丁寧に植えた。育苗を行う組合員の北本嗣朗さん(81)が指導した。冒頭、田村政博組合長があいさつした。

収穫した野菜は7月7日の収穫感謝祭でバーベキューの材料として味わう。野菜の出来栄の表彰も行う。

「市場内探検」と銘打ち、若手従業員らでつくる「ビ

された食材にまつわるクイズを解いたり、鮮魚の保存や氷の製造に使う大型の冷

に触れてもらおうと昨年度から始まった。今年度は全4回開かれる。

ツシユ3千個を通行人に手渡しした。
片岡正子協議会長と山野



コンフォモール教室
コンフォモール内灘教室の講座「シニアのパソコン教室」は12日、内灘町千鳥台4丁目の内灘教室で開かれ、参加者が講師から手ほどきを受け、文書を作成する方法を習った。講師の織田綾子さんが文



金沢本部
「パワーアップ」は12

生の力地域に生かす

々市市あやめ町内会(同市御経塚3丁目)と金沢工大生グループ「ヤープロジェクト」が、市特産ヤーコンをテーマに連携事業に乗りだした。は町内会が管理する畑で、学生と児童らが苗を植え交流を深めた。今ヤーコンを活用し、地域を盛り上げる。市は同町内会をモデルに、学力を生かし活性化につなげる取り組みとして他地区へも広げていく。



い、記念写真に納まった。11、12月ごろ収穫予定で、調理して味わうイベントを開催するなど、協議しながら取り組みを進める。

ヤーコンプロジェクトは昨年度、市の市民提案型協働事業として市内でヤーコンをPRするカフェなどを開いた。あやめ町内会では2年前から子ども会が児童のためヤーコンなど野菜の栽培体験を企画しており、ヤーコンという共通点があることから市が第1弾のモデル事業に選んだ。市は来年度、他の町内会からも学生との共同事業を募る計画だ。

同プロジェクトリーダーの山本昌史さん(3年)は「通年で子どもと触れ合う機会はありません。この機会には地元に誇りをもちたい」と話した。あやめ町内会の藤田雅弘会長(65)は「若い学生と子どもたちの距離を近くし、一緒に地域に活気をもたらしたい」と語った。

金沢医科大病院のふれあい看護体験(北國新聞社後援)は12日、内灘町の同病院で行われ、県内各地の高校3年生18人が患者の車いすを押して移動したり、看護師による洗髪を手伝ったりし、看護の心に触れた。看護師志望の宮本裕里さ

高校生 看護の心に触れる

金沢医科大病院



劇団晴れるや
日舞や歌披露
金沢

12日は金沢市のイオンタウン金沢示野店で3人が日舞とバルーンショー(本社法を学ぶ、

0)352
めばよい。
パワ
歴史や